

平成30年度
東京藝術大学大学院
美術研究科（修士課程）
学生募集要項

平成29年7月

東京藝術大学

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

目 次

1. 美術研究科アドミッションポリシー	1
2. 募集人員	1
3. 出願資格	2
4. 標準修業年限	2
5. 研究分野及び研究室（指導教員）一覧	3
6. 出願手続	7
◆出願手順・方法	7
◆出願期間	7
◆出願上の注意	8
◆障害のある入学志願者の事前相談について	8
① インターネット出願登録	10
② 入学検定料の支払い	11
③ 出願に必要な書類の送付	13
④ 受験票の印刷	15
7. 作品，論文，ポートフォリオ等の提出及び引き取りについて	16
8. 選抜試験内容及び日時	18
9. 選抜試験場	31
10. 合格者発表	31
11. 入学手続	32
12. 入学料・授業料の免除・徴収猶予について	33
13. 入試情報の開示について	34
14. 個人情報の取り扱いについて	35
※ 本学キャンパス（上野・取手）案内図	36
※ 提出作品・論文・ポートフォリオ等用紙（添付用・申告用）	37
※ 志望研究調書	38
※ 入学手続書類送付用宛名シート	39
※ 平成30年度東京藝術大学大学院入学試験個人成績開示願	40

1 美術研究科アドミッションポリシー

美術研究科修士課程では、学力検査（筆答試験・実技試験・口述試験等）、面接、提出物（作品ポートフォリオ・論文等）を総合して選抜を行っています。選抜試験の実施にあたっては、各専攻の特性を最大限に尊重した内容で行っています。本研究科を志望する受験生には、学士課程等において各専門領域の基礎的な知識・技能を習得することに加え、創造性・独創性を高めるための学習を期待します。

2 募集人員

(注) 1. 出願は、第1期及び第2期において、それぞれ一つの研究分野に限る。

ただし、「建築専攻」は建築専攻内の4研究分野内、「絵画専攻」は絵画専攻内の油画、版画、壁画、油画技法材料の4研究分野内で、それぞれ2つの研究分野まで志願できる。

第1期試験に合格した者は、第2期試験に出願できない。(第1期試験合格者は第2期試験を受験しても合格者とならない。)

2. 文化財保存学専攻の保存修復・建造物分野および保存科学分野では外国人留学生入試を第2期試験においても行う。(ただし、外国人留学生は第1期試験を受験できる。) 募集要項は別途配布する。

3. グローバルアートプラクティス専攻では外国人留学生入試を別途実施する。(ただし、外国人留学生は第2期試験も受験できる。) 外国人留学生入試募集要項は別途配布する。

区分	専攻	研究分野 <small>◇印は、その専攻内において相互に第2志望まで出願できることを示す。</small>	募集人員	
第1期 選抜試験 (平成29年9月実施)	建築	◇建築設計 ◇環境設計 ◇構造計画 ◇建築理論	18	
	文化財 保存学	保存修復 建造物	7	
		保存科学 文化財測定学 美術工芸材料学		
		システム 保存環境学 保存学 修復材料学		
第2期 選抜試験 (平成30年1月~2月実施)	絵画	日本画 ◇油画 ◇版画 ◇壁画 ◇油画技法・材料	50	
	彫刻	彫刻	13	
	工芸	彫金 鍛金 鑄金 漆芸(漆工・木工) 陶芸(陶・磁・ガラス造形) 染織	26	
	デザイン	デザイン	30	
	先端芸術表現	先端芸術表現	22	
	芸術学	美学 日本・東洋美術史 西洋美術史 工芸史 美術教育学 美術解剖学	21	
	グローバルアート プラクティス	グローバルアートプラクティス	18	
	文化財 保存学	保存修復 日本画 油彫工 画刻芸	11	
	合計			216

3 出願資格

本研究科（修士課程）に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

1. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に規定する日本の大学を卒業した者（本研究科入学前までに卒業見込みの者を含む。）
2. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定（大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者（本研究科入学前までに学位取得見込みの者を含む。）
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（本研究科入学前までに修了見込みの者を含む。）
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（本研究科入学前までに修了見込みの者を含む。）
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（本研究科入学前までに修了見込みの者を含む。）
6. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
7. 文部科学大臣の指定した者
8. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
9. 出願資格1～8に該当しない者のうち、本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

（注）出願資格1～8に該当しない者のうち、出願資格9により出願を希望する者には、個別に出願資格の審査を行うので、事前に本学美術学部教務係に申し出て申請書類を受け取り、定められた期限（第1期：平成29年7月25日、第2期：平成29年10月13日）必着で本研究科で指定した書類等を書留郵便にて提出すること。※窓口での提出の場合は16時までに提出すること。

審査が終了するまで出願書類等の受理を保留し、審査の結果は、本人宛に通知する。

出願資格を有すると認定された者は、本研究科が指定した期日までに出願手続を完了すること。

4 標準修業年限 2年

5 研究分野及び研究室（指導教員）一覧

下記一覧表の中から志望する研究室（指導教員）名をインターネット出願の際、選択すること。
また、今後（平成29年7月以降に）就任が決定する教員の研究室・指導教員情報については、東京藝術大学ホームページにおいて適宜公開する予定である。

（注）★印は平成29年10月に就任予定の教員を示す。

☆印は平成29年10月に昇任予定の教員を示す。

○印は平成31年3月末に定年退職予定の教員であるが、学生の募集を行う教員を示す。

●印は平成31年3月末に定年退職予定のため学生の募集を行わない教員を示す。

◆印は平成31年度より彫刻専攻で指導予定の教員を示す。

（兼）は、本学美術研究科の他研究室の教員が兼担していることを示す。

（併）は、東京文化財研究所の研究者が、本学教員として併任していることを示す。

ここに記載の研究室は平成29年7月時点の内容であり、平成30年度の教員異動が確定し次第、訂正版を本学ホームページ（<http://admissions.geidai.ac.jp/postgraduate/fine-arts/application/>）で公開するので、入学願書に志望研究室を記載する際には、最新の訂正版の内容を確認の上、記載すること。

専攻	研究分野	研究室	指導教員
絵画	日本画	日本画 第1研究室	植田一穂教授 海老洋准教授
		〃 第2研究室	齋藤典彦教授 (平成30年4月就任予定)
		〃 第3研究室 (古典研究を含む)	手塚雄二教授 吉村誠司教授
	油画	油画 第1研究室	小林正人教授
		〃 第2研究室	小山穂太郎教授
		〃 第3研究室	O J U N 教授
		〃 第4研究室	杉戸洋准教授
		〃 第5研究室	保科豊巳教授
		〃 第6研究室	坂田哲也教授
		版画 第1研究室	ミハエル・シュナイダー 准教授
		〃 第2研究室	三井田盛一郎 准教授
		壁画 第1研究室 (現代美術・アートプロジェクト)	中村政人教授
		〃 第2研究室	工藤晴也教授
		油画技法・材料 第1研究室	齋藤芽生 准教授
		〃 第2研究室	秋本貴透教授

専攻	研究分野	研究室	指導教員
彫刻	彫刻	彫刻 第1研究室	(平成30年4月就任予定)
		〃 第2研究室	林 武史 教授
		〃 第3研究室	(平成31年度GAPから異動予定)
		〃 第4研究室	○深井 隆 教授
		〃 第5研究室	原 真一 准教授
		〃 第6研究室	北郷 悟 教授
		〃 第7研究室	森 淳一 准教授
工芸	彫金	第1研究室	前田 宏智 准教授
		第2研究室	岩田 広己 准教授
	鍛金	第1研究室	篠原 行雄 教授
		第2研究室	丸山 智巳 准教授
	鋳金	第1研究室	赤沼 潔 教授
		第2研究室	★谷岡 靖則 准教授
	漆芸 (漆工・木工)	第1研究室 (漆工)	小椋 範彦 教授
		第2研究室 (漆工)	青木 宏憧 准教授
		第3研究室 (木工)	藺部 秀徳 講師
	陶芸 (陶・磁・ガラス造形)	第1研究室 (磁)	豊福 誠 教授
		第2研究室 (陶)	三上 亮 准教授
		第3研究室 (ガラス造形)	(兼)藤原 信幸 教授
	染織	第1研究室	(平成30年4月就任予定)
		第2研究室	☆上原 利丸 教授
デザイン	デザイン	機能・設計 研究室	長濱 雅彦 教授
		機能・演出 研究室	山崎 宣由 准教授
		空間・設計 研究室	橋本 和幸 教授
		空間・演出 研究室	鈴木 太朗 准教授
		環境・設計 研究室	清水 泰博 教授
		視覚・伝達 研究室	松下 計 教授
		映像・画像 研究室	箭内 道彦 准教授
		描画・装飾 研究室	押元 一敏 准教授
		情報・設計 研究室	○須永 剛司 教授
		企画・理論 研究室	藤崎 圭一郎 教授

専攻	研究分野	研究室	指導教員	
建 築	建 築 設 計	建築設計 第1研究室	藤 村 龍 至 准教授	
		建築設計 第2研究室	中 山 英 之 准教授	
		建築設計 第3研究室	●トム・ヘネガン 教 授	
	環 境 設 計	環境設計 第1研究室	●北川原 温 教 授	
		環境設計 第2研究室	ヨコミゾマコト 教 授	
	構 造 計 画	構造計画 第1研究室	金 田 充 弘 准教授	
	建 築 理 論	建築理論 第1研究室	光 井 涉 教 授	
		建築理論 第2研究室	野 口 昌 夫 教 授	
先端芸術表現	先 端 芸 術 表 現	知覚と記憶	第1研究室 (美術史・写真映像論)	伊 藤 俊 治 教 授
			第2研究室 (写真・映像)	鈴 木 理 策 准教授
		言語と身体	第3研究室 (7-プロジェクト・アートプロジェクト)	日比野 克 彦 教 授
			第4研究室 (彫刻・クリエイティブライティング)	長谷部 浩 教 授
		アートアンドサイエンス	第5研究室 (実験音楽・メディア表現)	古 川 聖 教 授
			第6研究室 (メディアアート)	八 谷 和 彦 准教授
		素材と創造性	第7研究室 (写真・空間表現)	佐 藤 時 啓 教 授
			第8研究室 (彫刻・映像)	◆小 谷 元 彦 准教授
			第9研究室 (総合インスタレーション・リレーショナルアート)	小 沢 剛 教 授
芸術学	美 学	美 学 第1研究室	林 卓 行 准教授	
		美 学 第2研究室	川 瀬 智 之 准教授	
	日 本 ・ 東 洋 美 術 史	日本・東洋美術史 第1研究室	☆片 山 ま び 教 授	
		日本・東洋美術史 第2研究室	須 賀 み ほ 准教授	
		日本・東洋美術史 第3研究室	佐 藤 道 信 教 授	
		日本・東洋美術史 第4研究室	松 田 誠 一 郎 教 授	
	西 洋 美 術 史	西洋美術史 第1研究室	田 辺 幹 之 助 教 授	
		西洋美術史 第2研究室	佐 藤 直 樹 准教授	
		西洋美術史 第3研究室	越 川 倫 明 教 授	
	工 芸 史	工 芸 史 研 究 室	☆(兼)片 山 ま び 教 授	
	美 術 教 育	美術教育 第1研究室	小 松 佳 代 子 准教授	
		美術教育 第2研究室	○本 郷 寛 教 授	
		美術教育 第3研究室	木 津 文 哉 教 授	
	美 術 解 剖 学	美術解剖学 研究室	布 施 英 利 准教授	

専攻	研究分野	研究室	指導教員	
グローバル アート プラクティス	グローバル アート プラクティス	グローバルアートプラクティス	◆大 卷 伸 嗣 教 授	
			藤 原 信 幸 教 授	
			篠 田 太 郎 准 教 授	
			(平成30年4月就任予定)	
			(平成30年4月就任予定)	
			★毛 利 悠 子 講 師	
文化財 保存学	保 存 修 復	日 本 画 第 1 研 究 室	荒 井 経 准 教 授	
		〃 第 2 研 究 室	(平成30年4月就任予定)	
		油 画 研 究 室	○木 島 隆 康 教 授 (兼)工 藤 晴 也 教 授	
		彫 刻 研 究 室	藪 内 佐 斗 司 教 授 ○(兼)深 井 隆 教 授	
		工 芸 研 究 室 (但し、工芸研究室の専攻は研究分野(彫金、鍛金、鋳金、漆芸(漆工・木工)、陶芸(陶・磁・ガラス造形)、染織)に応じて工芸科教員が兼担する。)	★北 野 珠 子 准 教 授 (兼)豊 福 誠 教 授 (兼)小 椋 範 彦 教 授	
		建 造 物 研 究 室	長 尾 充 教 授 (兼)光 井 涉 教 授	
		保 存 科 学	文化財測定学 研 究 室	稲 葉 政 満 教 授
			美術工芸材料学 第 1 研 究 室	桐 野 文 良 教 授
			〃 第 2 研 究 室	塚 田 全 彦 准 教 授
		システム保存学 (連携研究機関 東京文化財研究所)	保 存 環 境 学 研 究 室	(併)佐 野 千 絵 教 授
	(併)吉 田 直 人 教 授			
	(併)佐 藤 嘉 則 准 教 授			
	修 復 材 料 学 研 究 室		(併)早 川 泰 弘 教 授	
			(併)朽 津 信 明 教 授	
			(併)早 川 典 子 准 教 授	

6 出願手続

◆出願手順・方法

本学の大学院入学試験の出願方法は、平成29年度入試より「インターネット出願」に変わりました。出願手続の手順・方法は以下のとおりです。下記①、②を指定された期間内に行い、③の出願に必要な書類を提出期限内に本学に送付してください。到着した書類に不備がなく出願資格を有することが確認された時点で出願手続完了となります。出願が受理されると、インターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります。

①	インターネット出願登録 (詳細は10ページ参照)	パソコン等で本学の「入試情報サイト」から「インターネット出願サイト」にアクセスし、必要情報を入力、登録してください。
②	入学検定料の支払い (詳細は11ページ参照)	①の完了後、インターネット出願サイトの指示に従って、入学検定料をお支払いください。
③	出願に必要な書類の送付 (詳細は13ページ参照)	②の完了後、インターネット出願サイト及び本学入試情報サイト等から必要書類等を印刷し、他のすべての出願に必要な書類とともに本学に送付してください。
④	受験票の印刷 (詳細は15ページ参照)	出願資格等が確認されて出願が受理されると、インターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります。志願者各自が印刷して試験時に受験票を持参してください。

◆出願期間

	専攻	インターネット出願登録期間 及び入学検定料支払期間	「出願に必要な書類」 提出期限
第1期	建築	平成29年8月1日(火) 10:00～ 平成29年8月8日(火) 23:59まで	平成29年 8月10日(木) 17:00必着 ※ただし、海外在住の受験生で、 DHL、EMS等の確実に届く方法 で8月7日以前に発送したことが 確認できた場合に限り、期限後に 到着した場合でも受理する。事 前に到着予定日についてメールで 連絡すること。美術学部教務係： bijutsu.kyomu@ml.geidai.ac.jp
	保存修復(建造物)		
	保存科学		
	文化財保存学	システム保存学	
第2期	絵画	平成29年11月21日(火) 10:00～ 平成29年11月28日(火) 23:59まで	平成29年 11月30日(木) 17:00必着 ※ただし、海外在住の受験生で、 DHL、EMS等の確実に届く方法 で11月27日以前に発送したことが 確認できた場合に限り、期限後に 到着した場合でも受理する。事 前に到着予定日についてメールで 連絡すること。美術学部教務係： bijutsu.kyomu@ml.geidai.ac.jp
	彫刻		
	工芸		
	デザイン		
	先端芸術表現		
	芸術学		
	グローバルアートプラクティス		
文化財保存学 保存修復 (日本画、油画、彫刻、工芸)			

◆出願上の注意

- ・「インターネット出願」は、インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。入学検定料（11ページ参照）を支払期間内に支払い、出願に必要な書類（13ページ参照）を提出期限までに書留・速達郵便にて本学に送付する必要があります。
- ・提出された願書に書かれている学歴等が出願資格を満たしていると確認された場合、出願が受理され、インターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります（15ページ参照）。
- ・提出された必要書類に不備・不足がある場合、出願を受理できない場合があります。
- ・願書受理後は、いかなる理由があっても書類の変更は認めません。
- ・平成29年8月11日（金）～平成29年8月20日（日）は本学の夏季休業のため、出願にあたり不明な点がある場合は、この期間を除いて美術学部教務係へお問い合わせください。

◆障害のある入学志願者の事前相談について

受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮を必要とする志願者は、美術学部教務係に事前相談してください。様式任意の書面に志望専攻・研究分野、障害の種類・程度、受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮を必要とする事項等を記載し、医師の診断書または障害者手帳（写）を添付して、第1期（9月実施）については平成29年7月25日（火）までに、第2期（1月～2月実施）については平成29年11月1日（水）までに書留郵便にて提出してください。

なお、出願締切以後の不慮の事故による負傷等においても、速やかに美術学部教務係に相談してください。

送付先：〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学美術学部教務係

(注)・事前相談に対する回答には、相当の期間（1～2か月）を要する場合がありますため、早めに相談してください。

- ・事前相談は、ご希望されたすべての内容に対応できるとは限りませんのでご承知おきください。

○インターネット出願サイトの操作方法・入学検定料支払方法に関する問い合わせ先

(株) ディスコ「学び・教育」サポートセンター

Tel：0120-202-079（平日10：00～18：00／土・日・祝日・年末年始を除く ※出願期間中は24時間対応）（日本語のみ）

Email：cvs-web@disc.co.jp（日本語・英語対応可）

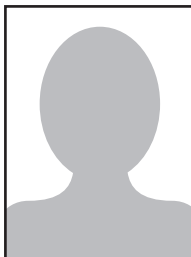
※入試に関する質問についてはお答えできません。

○入試に関する問い合わせ先

東京藝術大学美術学部教務係

Tel：050-5525-2122（平日9：00～12：30、13：30～16：30／土・日・祝日・本学の夏季休業期間・年末年始を除く）（日本語のみ）

※やむを得ない場合を除き、志願者本人が問い合わせてください。

インターネット出願する前に必ず確認してください	
パソコン等の動作環境	<p>PCでのインターネット出願では次のWebブラウザをご使用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Internet Explorer 11以降 ・ Microsoft Edge ・ Google Chrome 51以降 ・ Mozilla Firefox 50以降 ・ Apple Safari 8以降 <p>※ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行いますと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合がございます。複数タブでの同時申込操作はお控えください。</p> <p>※スマートフォン、タブレットは非推奨。</p>
メールの設定	<p>登録されたメールアドレスにメールが以下4回送信されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①インターネット出願登録時のテストメール ②出願登録完了時の自動返信メール ③検定料支払完了時の自動返信メール ④受験票が取得可能になった際の通知メール <p>メールはno-reply@e-apply.jpからお送りします。あらかじめ受信できるように設定しておいてください。</p>
写真の用意	<p>出願には顔写真データ（2MBまで）が必要です。脱帽、上半身、正面向、背景なし、出願前3か月以内に撮影のカラー写真データをご用意ください。下図を参考にして撮影をしてください。</p> <p><使用できない写真の例> 不鮮明なもの、背景が暗いもの、顔が横向きのもの、複数名で写っているもの、画像に加工を施しているもの等。 その他、目に前髪がかかっているものも不可。目のまわりなど顔がはっきりとわかるよう、撮影時に注意してください。</p> 
「出願資格を証明する書類」等の用意	<p>13ページ参照の上、出願に必要な提出書類は、提出期限内に間に合うようあらかじめご用意ください。特に「出願資格を証明する書類」については、インターネット出願登録を行う前に用意をしてください。</p>
封筒の用意	<p>必要書類提出のために、市販の角2封筒（240mm×332mm）をご用意ください。</p>
用紙の用意	<p>インターネット出願サイトから印刷する書類等はA4サイズに印刷します。A4サイズの白の用紙をご用意ください。</p>

※本学の「インターネット出願サイト」内「事前準備」も併せてご確認ください。

① インターネット出願登録

インターネット出願登録期間内に、本学の入試情報サイトのトップページにある「WEB出願」(ピンクのボタン)からインターネット出願サイトにアクセスします。トップページ下段にある「美術学部・美術研究科の出願手続を行う」(赤いボタン)をクリックして出願に必要な情報を登録してください。最初に、トップページの「インターネット出願利用手順」等をよく読んでから始めてください。

手 順	
	「インターネット出願サイト」(http://e-apply.jp/e/geidai-net/) にアクセス。 ▼ トップページ下段にある「美術学部・美術研究科の出願手続を行う」(赤いボタン)をクリック。 ▼
出願登録	入力画面に沿って入力、登録をしてください。 ・志望先の選択 [志望課程・志望する専攻・志望する研究分野等] ・志願者情報等 以下の2点にご注意ください。 *写真のアップロード : カラーの顔写真データを用意(9ページ参照)し、アップロードしてください。 *テストメールの受信確認 : 登録したメールアドレスが受信できるか(9ページ参照)、必ず「テストメール送信」ボタンを押してメールが受信できることを確認してください。 ▼
申込内容の確認	すべての入力を終わると、入力した内容の確認画面が出ます。 内容をよく確認し、誤りがなければ 「上記内容で申込みする」のボタンをクリックします。 ▼
登録完了	画面に「受付番号」が表示されたら登録は完了です。支払手続に進んでください。なお受付番号は、出願内容の確認、入学検定料の支払い、必要書類の印刷等で必要です。

※インターネット出願登録が完了すると、登録されたメールアドレスに登録完了メールが届きます。登録完了メールには受付番号が記載されていますので、入試終了まで大切に保管をしてください。

【インターネット出願登録に係わる注意事項】

- ・インターネット出願登録完了時に表示される「受付番号」は、受験番号ではありません。
- ・インターネット出願登録完了後、その日を含む4日以内の23:59までに支払手続が行われなかった場合、出願登録したデータはキャンセルとみなされ、データが削除されますのでご注意ください。
- ・インターネット出願登録完了後は、登録内容の修正・変更は一切できませんので誤入力のないよう注意してください。入学検定料支払前に誤りに気がついた場合は、入学検定料を支払わずに、もう一度新たに最初から登録をやり直してください。
- ・写真は、出願写真として適切でないと判断された場合、再提出になる場合があります。

② 入学検定料の支払い

入学検定料の支払いは、①のインターネット出願登録完了後に行います。出願登録完了後、以下の①、②のいずれかの手順で支払手続に進んでください。

- ① 出願登録完了後「入学検定料の支払いを行う」をクリックする。
- ② インターネット出願サイトのトップページ下段にある「美術学部・美術研究科の出願内容の確認／入学願書の印刷」からログインして「入学検定料の支払いを行う」をクリックする。

支払方法を選択して、支払期間内に入学検定料の支払手続を行ってください。

入学検定料	支払期間		
36,000円	第1期	平成29年8月1日(火) ～ 平成29年8月8日(火) 23:59まで	左記期間中、インターネット出願登録を完了した日を含む4日以内の23:59まで ※ただし、出願登録完了日が支払期限締切日まで4日未満の場合は左記支払期限締切日時が優先
	第2期	平成29年11月21日(火) ～ 平成29年11月28日(火) 23:59まで	

※支払方法によって、別途振込手数料が必要な場合があります。

支払方法	取扱機関等
コンビニエンスストア	セブン-イレブン／ローソン、ミニストップ (Loppi) ／ファミリーマート (Famiポート) ／サークルK・サンクス (Kステーション) ／デイリーヤマザキ、スリーエフ／セイコーマート (クラブステーション)
クレジットカード	MUFGCARD ／ DC ／ UFJCard ／ NICOS ／ VISA ／ MasterCard ／ JCB ／ AMERICAN EXPRESS
郵便局・銀行ATM	Pay-easy対応ATM
ネットバンキング	ペイジー対応ネットバンキング／ジャパネット銀行／楽天銀行／住信SBIネット銀行／じぶん銀行

※入学検定料の支払いが完了すると、登録されたメールアドレスに支払手続完了メールが届きます。

【入学検定料に係わる注意事項】

- ・支払手続に関する詳細・注意点等については、インターネット出願サイトのトップページから「支払い方法」を参照してご確認ください。
- ・支払期間が過ぎると入学検定料を支払うことができません。
- ・支払期間までに支払いが完了しない場合、出願登録したデータは消去されますので、ご注意ください。
- ・入学検定料支払が完了していない場合、インターネット出願サイトから出願に必要な書類等を印刷できません。(※国費外国人留学生および入学検定料免除許可者を除く)

- ・現在国費外国人留学生ではないが、国費外国人留学生としての入学を希望している者は入学検定料を支払う必要があります。また、本試験への出願だけでなく、以下のサイトを参照に、受入内諾書申請を行う必要があります。

<http://admissions.geidai.ac.jp/international-students/government-financed/>

- ・国費外国人留学生は入学検定料の支払不要です。ただし、「国費外国人留学生証明書」を在籍する大学から発行してもらい、③の出願に必要な書類（13ページ参照）とともに本学に提出してください。
- ・クレジットカード決済でお支払いされる場合は、有効なカードをご用意ください。カード名義は出願者本人でなくてもかまいません。
- ・クレジットカードでのお支払いができない場合は、他のカードで決済するか、コンビニエンスストア払い等の決済手段でお支払いください。

【入学検定料免除制度について】

平成23年3月に発生した東日本大震災及び、平成28年4月に発生した熊本地震において被災した志願者に対し、進学機会の確保を図る観点から入学検定料免除の特別措置を実施します。申請時期などの詳細は本学入試サイト（<http://admissions.geidai.ac.jp/>）を確認してください。

① 提出書類

- ・入学検定料免除申請書（本学指定様式）
- ・罹災証明書等の写し（市区町村等が発行）

② 注意事項

- ・インターネット出願登録は、免除の結果が決定した後に行ってください。

問い合わせ先：〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学学生課入学試験係
Tel：050-5525-2075 / Fax：03-5685-7763

【入学検定料の返還について】

次の場合を除き、いかなる理由があっても既納の入学検定料は返還しません。

- ・入学検定料を支払い、出願に必要な書類を提出したが出願が受理されなかった場合
- ・入学検定料を支払ったが、出願に必要な書類を提出しなかった場合

該当する場合の返還請求の方法は下記のとおりです。

本学所定の用紙「検定料返還請求願」（本学入試情報サイトよりダウンロード・印刷してください）に必要事項を記入・捺印し、下記送付先に郵送してください。

送付先：〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学戦略企画課経理係

（注）・入学検定料支払時に発生した手数料は返還対象外です。

- ・大学から志願者への返還金額は、入学検定料の金額から返還時の振込手数料を差し引いた額です。
- ・返還請求願受領後、返還金の振込まで通常約2～3か月かかります。
- ・返還請求願の提出期限は平成30年3月31日です。期限までに提出がない場合、入学検定料は返還しません。

③ 出願に必要な書類の送付

出願に必要な書類の送付は、②の入学検定料の支払完了後に行います。インターネット出願サイト及び本学入試情報サイトより該当書類及び「封筒貼付用宛名シート」を印刷して、封筒に「封筒貼付用宛名シート」を貼付し、すべての出願に必要な書類を封筒に入れて提出期限までに**書留・速達郵便**で本学へ送付してください。

海外からの発送はDHL、EMSなど確実に届く方法で本学に送付してください。

必要書類	要領等	提出者	注意事項等
出願資格を証明する書類	出願資格を証明する書類として、次の2点を提出してください。 ① 学部の成績証明書 ② 大学卒業（または卒業見込）証明書 ※①、②ともに原本を提出してください（カラーコピー不可）。	志願者全員	本学部卒業者・在学生、及び本学国費外国人留学生は不要。ただし、研究生等の非正規生は提出すること。発行年月日は問わない。
入学願書	インターネット出願サイトから カラー印刷 したものを提出してください（写真票は、入学願書を印刷すると自動的に印刷されます）。		氏名は原則、戸籍と同一文字とする。現住所は、願書記入時の住所でよい。日本国籍以外の場合は、在留資格を記入すること。
写真票			
志望研究調査書	募集要項38ページにある本学所定の用紙を印刷の上、必要事項を記入して提出してください。インターネット出願サイト内「必要書類のダウンロード」、及び本学入試情報サイト内「大学院入試」の「各種様式」からも印刷できます。		
入学手続書類送付用宛名シート	募集要項39ページにある本学所定の用紙を印刷の上、必要事項を記入して提出してください。インターネット出願サイト内「必要書類のダウンロード」、及び本学入試情報サイト内「大学院入試」の「各種様式」からも印刷できます。		最終合格者に、入学手続書類を送付する際に使用する。
推薦書	2名からの推薦書を提出してください（これまでの自身の研究や作品について指導した者、またはそれを評価できる者が作成したものとします）。	グローバルアートプラクティス専攻志願者のみ	英語または日本語で作成したものに限り。
英語語学成績証明書	いずれか、1つの成績証明書を提出してください。 TOEFL (iBT) ※TOEFL PBTまたはTOEFL ITPは不可 TOEIC, Listening & ReadingまたはTOEIC, Speaking & Writing ※TOEICについては、『公開テスト』と『IPテスト』のどちらも対象とする。 ※TOEIC Speaking TESTまたはTOEIC Bridgeは不可 IELTS (アカデミックモジュール) ※ジェネラル・トレーニングモジュールは不可	グローバルアートプラクティス専攻志願者のうち、母語が英語でない志願者のみ	2016年3月1日以降に受験したものに限り。
その他①～④	<p>① 日本に在住している留学生は、市区町村長の発行する「住民票（在留資格、在留期間明記のもの）」または「在留カードのコピー」を提出してください（本学在学生及び本学国費外国人留学生は不要）。</p> <p>② 日本政府国費留学生は、①に加えて、在籍している大学が発行する「国費外国人留学生証明書（在籍身分、留学期間明記のもの）」を提出してください。</p> <p>③ 各種証明書等と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書等（戸籍抄本等）を提出してください。</p> <p>④ 外国人留学生で複数の氏名表記がある場合は、同一人物であることを確認できる証明書等（パスポートのコピー可）を提出してください。</p>	該当者のみ	その他①～④の内容を確認し、該当者は必要書類を用意すること。

出願に必要な書類送付に際して用意するもの	
封筒	市販の角2封筒(240mm×332mm)を各自で用意
封筒貼付用宛名シート	インターネット出願サイトより印刷 入学願書を印刷すると、自動的に印刷されます。印刷した宛名シートを封筒に貼り付けて、出願に必要な書類を封入の上ご送付ください。

必要書類提出先：〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学美術学部

【出願に必要な書類に係わる注意事項】

- ・出願に必要な書類は、提出期限内に到着の郵送受付に限ります。**本学に直接持参したものは一切受け付けません。**また、提出期限までに届かない出願に必要な書類は、いかなる理由でも受け付けません。
- ・郵送された出願に必要な書類の受領確認に関する問い合わせは受け付けられません。
- ・成績証明書について、(編入学などにより)4年間の大学教育を2つ以上の学校にまたがって終えた場合は、在籍した全ての学校についての成績証明書を提出してください。
- ・グローバルアートプラクティス専攻**以外**の志願者は、**日本語以外で書かれた書類に、必ず日本語訳を添付**してください(翻訳に関する公的証明書は不要、出願者が訳したもので構いません)。
- ・グローバルアートプラクティス専攻の志願者は、「出願資格を証明する書類」には、必ず日本語訳を添付してください。その他の書類は日本語訳もしくは英語訳を添付してください(翻訳に関する公的証明書は不要、出願者が訳したもので構いません)。
- ・本研究科が指定していない書類は一切提出しないでください。
- ・証明書等は、発行元の封筒から出して提出してください(封筒は提出不要)。
- ・**提出する証明書類は、すべて原本が原則**です。
- ・提出された書類は基本的には返却しません。**再発行不可能な証明書等の原本を本学に送付し、返却を希望する場合は必ずその旨を記載したメモを添えてください。**
- ・出願に必要な書類送付の際、封筒には出願者1名の書類のみ入れてください(複数の出願者の書類が入っていた場合、すべて無効となります)。
- ・その他、必要に応じて証明書等の提出を本学が求める場合があります。
- ・各種証明書等と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書等(戸籍抄本等、コピーでも可)を提出してください。

先端芸術表現専攻 志願者へ
(入学願書への入力について)

領域の選択は、入学後に行いますが、皆さんがどのような領域に興味を持たれているのかを事前に知り、より客観的な選抜を行うため、願書にも希望領域の入力をお願いしています。

④ 受験票の印刷

受験票は、願書受理後にインターネット出願サイトから印刷できるようになります。受験票の印刷ができるようになると、登録されたメールアドレスに受験票取得可能の通知メールが届きます。**志願者が各自でA4サイズの下紙に印刷し、切り取り線で切り取ったものを試験当日に持参してください。**なお、**受験票は本学からは発送されません**のでご注意ください。

	専 攻		受験票の印刷期間
第1期	建築		平成29年8月30日（水） 16：00以降
	文化財保存学	保存修復（建造物）	
		保存科学	
		システム保存学	
第2期	絵画		平成29年12月22日（金） 16：00以降
	彫刻		
	工芸		
	デザイン		
	先端芸術表現		
	芸術学		
	グローバルアートプラクティス		
	文化財保存学 保存修復（日本画、油画、彫刻、工芸）		

【受験票に係わる注意事項】

- ・ **受験票を印刷後、記載内容について必ず確認**してください。インターネット出願サイトで登録した内容と受験票の記載内容が異なる場合は、美術学部教務係へ、第1期は平成29年9月4日（月）までに、第2期は平成30年1月5日（金）までに連絡してください（登録内容は、インターネット出願サイトのトップページ下段にある「美術学部・美術研究科の出願内容の確認／入学願書の印刷」をクリックすると参照できます）。
- ・ 受験票の印刷期間になっても、受験票が印刷できるようにならない場合は美術学部教務係へ、第1期は平成29年9月4日（月）までに、第2期は平成30年1月5日（金）までに連絡してください。
- ・ 試験当日は受験票が必要です。出願登録した際の受付番号等では受験できません。
- ・ インターネット出願登録した際の受付番号と受験番号は異なります。
- ・ 出願登録完了後にメールアドレスを変更すると、受験票発行のメールが届きませんのでご注意ください。

連絡先：東京藝術大学美術学部教務係 Tel：050-5525-2122（平日9：00～12：30，13：30～16：30／土・日・祝日・本学の夏季休業期間・年末年始を除く）（日本語のみ）

7 作品, 論文, ポートフォリオ等の提出及び引き取りについて

作品, 論文, ポートフォリオ等の提出は, 美術解剖学, 保存科学, システム保存学以外の全研究分野に課せられている。その提出及び引き取り方法については, 下記の要項によること。

1. 提出する作品, 論文, ポートフォリオ等の内容, 規格等は, 18ページ以降の各研究分野の「**選抜試験内容及び方法**」によること。
2. 油画・彫刻・工芸・デザイン・建築・先端芸術表現・美術教育・グローバルアートプラクティス専攻では, ポートフォリオの提出が課せられている。ポートフォリオとは, 志願者のこれまでの活動内容を分かりやすくまとめたファイルのことである。ポートフォリオの提出方法については, 18ページ以降の「**各研究分野の選抜試験内容及び方法**」によること。
3. 提出にあたっては, 募集要項37ページの所定の「提出作品・論文・ポートフォリオ等用紙」**添付用**を各作品等に貼り, 併せて「提出作品・論文・ポートフォリオ等用紙」**申告用**を窓口に出すこと(郵送での提出を指示されている研究分野については, **申告用**は同封すること)。
ただし, 日本画研究分野は, 「提出作品・論文・ポートフォリオ等用紙」**添付用**のみとする。
また, 先端芸術表現研究分野は, 全ての「提出作品・論文・ポートフォリオ等用紙」**申告用**を1ヶ所で綴じてポートフォリオに添えて郵送すること。
※「提出作品・論文・ポートフォリオ等用紙」は, 受験者の作品等であることの証明と, 提出後に他の受験者の作品等との混同を防ぐことを主な目的としている。証明欄に指導教員の証明を得ることができない場合は, 本人の能力を知る, 第三者の証明を得ること。また, 特にことわりのない限り, 全ての作品, 論文等ごとに添付すること。
4. 受験生は本学校舎正門より構内に入構し, その後は誘導板または試験官の誘導等に従い搬入出を行うこと。また, 搬入業者を利用する場合は, 下記の各研究分野指定時間内に到着するように手配し, 必ず本人が立ち会うこと。
(特別な措置を必要とする場合(大型クレーンを使用する等)は, 必ず事前に各研究室と相談すること。構内および上野公園近辺は駐車スペースがほとんどないため, 搬入出が終了したら速やかに退出すること。)
5. 作品, 論文, ポートフォリオ等の提出及び引き取りは, 指定された日時に, 必ず本人が行うこと。(人手が必要な場合は受験生側で手配の上, 必ず本人も立ち会うこと。)指定された日時以外は, これを認めない。
(指定日時に引き取りのない作品等については, 大学で処分するので, 十分注意すること。)
6. 安全管理及び保健衛生上, 支障のある作品等は受理しない。
7. 作品等提出時に, インターネット出願サイトから印刷した受験票を持参すること。

第1期選抜試験(建築・文化財保存学(保存修復・建造物)の各専攻)

研究分野		提出日時・場所	返却日時・場所
建築設計, 環境設計 構造計画, 建築理論		9月6日(水), 7日(木) 9時~16時 美術学部教務係 (郵送の場合は期間内必着)	9月22日(金) 選抜試験終了後 建築研究室
保存修復	建造物	9月19日(火) 9時~16時 美術学部教務係 (郵送の場合は期間内必着)	9月22日(金) 面接終了後 文化財保存学専攻から指示する

第2期選抜試験（絵画，彫刻，工芸，デザイン，先端芸術表現，芸術学，文化財保存学，グローバルアートプラクティスの各専攻）

研究分野	提出日時・場所	返却日時・場所
日本画	2月12日(月) 9時～10時30分 前日、日本画研究室から指示する	2月12日(月) 面接終了後 日本画研究室
油画、版画、壁画 油画技法・材料	2月7日(水) 10時～12時 13時～15時 油画研究室	2月12日(月) 10時～12時 13時～15時 油画研究室
彫刻	2月12日(月) 10時～15時 彫刻研究室	2月15日(木) 10時～15時 彫刻研究室
彫金 鍛金 鍍金 漆芸(漆工・木工) 陶芸(陶・磁・ガラス造形) 染織	2月13日(火) ポートフォリオ提出 2月13日(火) 作品提出 漆芸(漆工・木工), 鍛金 2月14日(水) 作品提出 彫金, 鍍金, 陶芸(陶・磁・ガラス造形), 染織 作品運送を業者に委託する場合は「○○作品」と朱書し, 2月10日(土) 午前中に必着のこと。 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学美術学部工芸科○○研究室 (※○○には研究分野を記入)	2月14日(水) 面接終了後 各研究室 ※鍛金 2月13日(火) 面接終了後 鍛金研究室
デザイン	第1次試験 2月5日(月)～2月6日(火)9時～16時(必着) 下記の2点を美術学部教務係へ郵送にて提出 (A)作品ファイル(ポートフォリオ) (B)研究計画書 ※(A/B)の提出の際は25ページの指示に従うこと	・第1次試験不合格者のポートフォリオ返却 2月10日(土)13時～16時 美術学部教務係 ※住所・連絡先が不明な場合は3月20日(火)以降は処分します。
	第2次試験 ※第1次合格者のみ 2月16日(金) 10時～12時 デザイン科合同研究室	2月16日(金) 17時～19時 デザイン科合同研究室
◎ 先端芸術表現	1月18日(木)～1月22日(月)16時まで(必着) 提出先: 〒302-0001 茨城県取手市小文間5000 東京藝術大学取手校地 先端芸術表現研究室 ※「修士ポートフォリオ等在中」と封筒に朱書のうえ, 書留で郵送すること。持ち込みは不可 ※ポートフォリオは26ページの指示に従うこと	●合格者の方には, 入学後に返却します。 ●不合格者の方には, 以下の要領で返却します。 期間中に受け取りのなかったものについては, 当方で処分させていただきます。 返却日時: 3月30日(金) 10時00分～16時30分 場所: 取手校地メディア教育棟204 先端芸術表現科合同教員室 ※受験票をご持参ください。 ※代理人の場合, 受験票をお預けください。
美学, 日本・東洋美術史 西洋美術史, 工芸史	1月4日(木)～10日(水) 9時～16時 美術学部教務係 郵送の場合は期間内必着 「芸術学科卒業論文在中」と封筒に朱書の上, 書留で郵送すること。 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学美術学部教務係	試験終了時に芸術学研究室から指示する
美術教育	2月14日(水) 11時～15時 ※当日, 美術教育研究室から指示する	2月15日(木) 受験生全員の面接終了後 ※詳細は美術教育研究室から指示する
グローバルアート プラクティス	1月15日(月)～1月23日(火)16時まで(必着) 提出先: 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学美術学部教務係 「GAP専攻ポートフォリオ等在中」と封筒に朱書の上, 書留で郵送すること。持ち込みは不可。 ※ポートフォリオは29ページの指示に従うこと	ポートフォリオ等の提出された資料は返却しません。
保存修復	日本画 油画 彫刻 工芸 2月10日(土) 13時～15時 当日, 学内に掲示する	2月13日(火) 面接終了後 当日, 文化財保存学専攻から指示する

注 表中の研究室について, ◎の研究分野は作品, 論文, ポートフォリオ等の提出先が取手校地の研究室を示し, それ以外は上野校地の研究室を示す。

8 選抜試験内容及び日時

入学者の選抜は、本大学院の実施する学力検査（筆答試験、実技試験、口述試験等）、面接及び受験者から提出された書類、作品、論文、ポートフォリオ等を総合して判定する。

課せられた試験（作品等提出を含む）を一つでも受験しなかった者は失格（不合格）となる。また、検定料は返却しない。（試験日時を間違えた場合も同様。）

携帯電話及び撮影・通信機能を備えた電子機器をキャンパス内で使用することを禁止します。試験期間中は大学で保管することがあります。

第1期選抜試験（平成29年9月実施）

専攻	研究分野	日	時	選抜試験内容及び方法	
建 築	建築設計	9月6日(水)	9:00~16:00	ポートフォリオ, 小論文提出 提出先: 美術学部教務係(郵送の場合は期間内必着。 海外から郵送する場合に限り, 期間前に 到着したのも受けつける。)	
		9月7日(木)			
	環境設計	(イ)ポートフォリオ 1冊 (ロ)小論文 (修士課程進学の動機ならびに志 望研究室における研究プログラ ム, 1,600字程度)	※ポートフォリオに共同作品を含む場合は明記すること。		
			9月19日(火)	9:00~11:00	筆答試験(建築史)
			(集合時刻 及び場所 8:30 中央棟玄関前)	11:15~12:15	筆答試験(英語)(辞書使用不可)
			13:00~14:30	筆答試験(構造力学)	
	構造計画	15:00~	面接(志望研究室指導教員が面接を行う。)		
		9月21日(木)	9:00~17:00	設計実技試験 (製図用具及び着彩用具を持参すること。)	
	(集合時刻 及び場所 8:30 中央棟玄関前)				
	建築理論	9月22日(金)	9:00~	前日の設計実技試験の作品の提案説明ならびに質 疑応答	
(集合時刻 及び場所 8:30 中央棟玄関前)					

(注) 文化財保存学専攻の志願者は、願書提出前に、志望する研究室で、文化財保存学専攻の内容について説明を受けるのが望ましい。
 保存修復建造物研究室…050-5525-2284 保存科学研究室…050-5525-2285
 システム保存学研究室…03-3823-4873

専攻	研究分野	日	時	選抜試験内容及び方法
文化財保存学	保存修復 (建造物)	9月19日(火)	9:00~16:00	作品(設計図)又は研究成果の提出(1点) 提出先:美術学部教務係(郵送の場合は期限内必着) 作品等の提出には,所定の「提出作品・論文・ポートフォリオ等用紙」 添付用を作品に貼り,併せて「提出作品・論文・ポートフォリオ等用紙」 申告用を窓口に出すこと。 提出作品は,9月22日(金)の面接終了時に返却する。 (注) 1. ポートフォリオの場合は, A3版以下とし, 1冊を1点とする。ポートフォリオの1冊の内容については, 作品又は研究成果を3点まで。 2. 提出作品をパネル化する場合は, 厚さ5mm程度の軽量のボードとする。 3. パネルは, 一人で持ち運び可能なサイズで4枚まで。模型及び共同制作の作品は不可。
		9月20日(水)	10:00~16:00	実技試験〈鉛筆写生(断面図等)〉
		9月21日(木)	9:00~10:30	筆答試験 (1) 保存修復に関する小論文試験
		9月21日(木)	11:00~12:30	(2) 志望する専門に関する試験
	9月22日(金)	13:00~	面接	
	保存科学	9月19日(火)	10:00~12:00	筆答試験(英語)(英和辞書1冊持込可。ただし電子辞書は不可。)
		9月19日(火)	12:45~14:45	筆答試験 保存科学に関する基礎的知識についての試験
		9月19日(火)	15:00~17:00	小論文
		9月20日(水)	10:00~13:00	筆答試験等 受験生の専攻内容に応じ, 適宜出題する。実験技術等の実地試験を課すこともある。
		9月20日(水)	14:00~	} 面接及び口述試験
9月21日(木)		10:00~		

専攻	研究分野	日	時	選抜試験内容及び方法
文化 財 保存 学	システム 保存学	9月19日(火)	10:00~12:00	筆答試験(英語)(英和辞書持込は不可。)
		〔集合時刻 9:30 中央棟玄関ロビー〕	12:45~14:45	筆答試験 保存科学に関する基礎的知識についての試験
			15:00~17:00	小論文
		9月20日(水)	10:00~13:00	筆答試験等 受験生の専攻内容に応じ、適宜出題する。実験技術等の実地試験を課すこともある。
		〔集合時刻 9:30 中央棟玄関ロビー〕		14:00~
		9月21日(木)	10:00~	面接及び口述試験
〔集合時刻は 9月19日に 指示する 中央棟玄関ロビー〕				

第2期選抜試験（平成30年1月～2月実施）

（注）日本画研究分野では入試及び各研究室の内容についてのオリエンテーションを
10月16日（月）13：30より上野校地中央棟一階、第2講義室において実施します。

専攻	研究分野	日	時	選抜試験内容及び方法		
絵 画	日本画	2月11日(日)	9：00～16：00	実技試験（人物…鉛筆デッサン）		
		〔集合時刻 8：30 絵画棟玄関前〕				
		2月12日(月)	9：00～10：30	作品提出〔50号（116.7×116.7cm以内とする）2点 1年以内に制作したものに限る。 パネル張りのこと（額装しないこと。）〕 希望者は、作品に加えてポートフォリオを提出してもよい。 提出先：前日、日本画研究室から指示する。		
	13：00～ 〔集合時刻 12：45 絵画棟玄関前〕		面接			
	油 画 版 画 壁 画 油画技法・材料	2月7日(水)	10：00～12：00 13：00～15：00	【作品提出】 提出先：油画研究室 ※1・作品の搬入出は必ず本人立ち合いのうえ、 油画研究室からの指示に従って行うこと。 2・「提出作品・論文・ポートフォリオ等用紙」 の証明欄への記入は、下記(イ)・(ロ)・(ハ)の全 てに必要である。 ◆油画分野 (イ) 作品1点(227cm×182cm以内、かつ奥行227cm以内) ※1年以内に制作したものに限る。 (ロ) ドローイングファイル1冊 (ハ) ポートフォリオ1冊 ◆版画分野 (イ) 作品2点以内 ※1年以内に制作したものに限る。 (ロ) これからの研究意図を示すもの（エスキ ス・作品プラン・文章を加えてもよい） ◆壁画分野 (イ) 作品1点(227cm×182cm以内、かつ奥行227cm以内) ※1年以内に制作したものに限る。 (ロ) ドローイングファイル1冊 (ハ) ポートフォリオ1冊 ◆油画技法・材料分野 (イ) 作品1点(227cm×182cm以内、かつ奥行227cm以内) ※1年以内に制作したものに限る。 (ロ) ドローイングファイル1冊 (ハ) ポートフォリオ1冊		
				2月10日(土)	9：00～11：00 〔集合時刻 8：20 絵画棟1階 エレベータホール〕	実技試験〔デッサン 用紙、カルトンは本学で用意する。 （描画材料、消具一式は持参）〕
						面接〔実技試験終了後行う。 方法、開始時刻は当日指示する。〕

専攻	研究分野	日	時	選抜試験内容及び方法
彫 刻	彫 刻	2月12日(月)	10:00~15:00	作品提出 提出先：彫刻研究室 A. 彫刻 1点 (1年以内に制作したものに限り) 作品の一边が3mを越えるもの、作品の重量が3tを超えるものは出願前までに彫刻研究室まで必ず問い合わせること。(彫刻研究室…050-5525-2163) B. ポートフォリオの提出 大きさはA4版とする。1冊のみ提出すること。 作品は必ず本人立会いのうえ搬入すること。
		2月13日(火) 〔集合時刻 9:40 彫刻棟玄関前〕	10:00~12:00	実技試験 素描(素描用具一式持参のこと。)
		2月14日(水) 〔集合時刻は2月 13日に指示する 彫刻棟玄関前〕	10:00~	面接
工	彫 金	2月12日(月) 〔集合時刻 9:30 中央棟玄関ロビー〕	10:00~12:00	工芸共通筆答試験(美術,工芸に関する専門知識)
			13:00~17:00	工芸共通実技試験(着彩写生及び鉛筆写生に必要な用具一式を持参すること。)
		2月13日(火) 〔集合時刻 9:30 金工棟玄関前〕	10:00~16:00	実技試験(彫金に関する専門実技) (筆記用具,彫る鑿一式,金鉗(オタフク),鑿用の砥石を持参すること) ポートフォリオ(A4サイズ)提出 提出先:彫金研究室
	2月14日(水) 〔集合時刻 9:30 中央棟玄関ロビー〕	10:00~15:00	筆答試験(彫金に関する専門知識) 作品提出及び面接 (2年以内に制作した作品を3~5点持参し,面接を受ける。) 提出先:彫金研究室	
	鍛 金	2月12日(月) 〔集合時刻 9:30 中央棟玄関ロビー〕	10:00~12:00	工芸共通筆答試験(美術,工芸に関する専門知識)
			13:00~17:00	工芸共通実技試験(着彩写生及び鉛筆写生に必要な用具一式を持参すること。)
2月13日(火) 〔集合時刻 9:30 鍛金学生教室〕		10:00~17:00	実技試験(鍛金に関する専門実技) (筆記用具,金鉗(絞り用一式),金鋏を持参すること) 筆答試験(鍛金に関する専門知識) 作品提出 (1年以内に制作した自己の作品3点以内を提出) ポートフォリオ提出 提出先:鍛金研究室 面接	

専攻	研究分野	日	時	選抜試験内容及び方法
工芸	鑄金	2月12日(月)	10:00~12:00	工芸共通筆答試験 (美術, 工芸に関する専門知識)
		〔集合時刻 9:30 中央棟玄関ロビー〕	13:00~17:00	工芸共通実技試験 (着彩写生及び鉛筆写生に必要な用具一式を持参すること。)
			2月13日(火)	
		〔集合時刻 9:30 総合工房棟玄関前〕	10:00~16:00	実技試験 (着彩写生及び鉛筆写生に必要な用具一式を持参すること。)
			2月14日(水)	10:00~11:00
		〔集合時刻 9:30 総合工房棟玄関前〕	12:00~16:00	作品提出及び面接 (自己の作品を3点以内持参し, 面接を受ける。) 提出先: 鑄金研究室
	漆芸 (漆工)		2月12日(月)	10:00~12:00
		〔集合時刻 9:30 中央棟玄関ロビー〕	13:00~17:00	工芸共通実技試験 (着彩写生及び鉛筆写生に必要な用具一式を持参すること。)
			2月13日(火)	9:30~
		〔集合時刻 9:30 総合工房棟5F エレベーターホール〕	10:00~12:00	筆答試験 (漆工に関する専門知識)
			13:00~17:00	実技試験 (蒔絵筆3本, 溜刷毛(大・小), ヘラ(大・小), 鉛筆, 消しゴム, 鉛筆削り用ナイフ)
		〔集合時刻 9:30 総合工房棟5F エレベーターホール〕	10:00~16:00	面接
漆芸 (木工)	2月12日(月)	10:00~12:00	工芸共通筆答試験 (美術, 工芸に関する専門知識)	
	〔集合時刻 9:30 中央棟玄関ロビー〕	13:00~17:00	工芸共通実技試験 (着彩写生及び鉛筆写生に必要な用具一式を持参すること。)	
		2月13日(火)	9:30~	作品提出 ポートフォリオ (A4サイズ) 提出 提出先: 漆芸研究室
	〔集合時刻 9:30 総合工房棟5F エレベーターホール〕	10:00~12:00	筆答試験 (木工に関する専門知識)	
		13:00~17:00	実技試験 (筆記用具を持参すること。)	
	〔集合時刻 9:30 総合工房棟5F エレベーターホール〕	10:00~16:00	面接	

専攻	研究分野	日	時	選抜試験内容及び方法
工 芸	陶 芸 (陶・磁)	2月12日(月)	10:00~12:00	工芸共通筆答試験 (美術, 工芸に関する専門知識)
		〔 集合時刻 9:30 中央棟玄関ロビー〕	13:00~17:00	工芸共通実技試験 (着彩写生及び鉛筆写生に必要な用具一式を持参すること。)
			2月13日(火)	10:00~17:00
		〔 集合時刻 9:45 陶芸上絵室〕	筆答試験 (陶芸に関する専門知識)	
		2月14日(水)	10:00~17:00	作品提出及び面接 (自己の作品とポートフォリオを持参し, 面接を受ける。) 提出先: 陶芸研究室
		〔 集合時刻 9:45 陶芸上絵室〕		
	陶 芸 (ガラス造形)	2月12日(月)	10:00~12:00	工芸共通筆答試験 (美術, 工芸に関する専門知識)
		〔 集合時刻 9:30 中央棟玄関ロビー〕	13:00~17:00	工芸共通実技試験 (着彩写生及び鉛筆写生に必要な用具一式を持参すること。)
			2月13日(火)	10:00~17:00
		〔 集合時刻 9:45 陶芸上絵室〕	筆答試験 (ガラス造形に関する専門知識)	
		2月14日(水)	10:00~17:00	作品提出及び面接 (自己の作品とポートフォリオを持参し, 面接を受ける。) 提出先: 陶芸研究室
		〔 集合時刻 9:45 陶芸上絵室〕		
染 織	2月12日(月)	10:00~12:00	工芸共通筆答試験 (美術, 工芸に関する専門知識)	
	〔 集合時刻 9:30 中央棟玄関ロビー〕	13:00~17:00	工芸共通実技試験 (着彩写生及び鉛筆写生に必要な用具一式を持参すること。)	
		2月13日(火)	10:00~16:00	ポートフォリオ提出 提出先: 染織研究室
	〔 集合時刻 9:30 染織実習室〕	筆答試験 (染織に関する専門知識)		
	2月14日(水)	10:00~16:00	実技試験 (必要な用具, 用材は前日知らせる。)	
			作品提出及び面接 (自己の作品5点程度を持参し, 面接を受ける。) 提出先: 染織研究室	
〔 集合時刻 前日指示 染織実習室〕				

専攻	研究分野	日	時	選抜試験内容及び方法
デザイン	デザイン	第1次試験 2月5日(月) ↓ 2月6日(火)	9:00~16:00	作品ファイル及び研究計画書提出（郵送に限る。期間内必着。海外から郵送する場合に限り、期間前に到着したのもも受けつける。） 提出先：美術学部教務係 (A) 作品ファイル（ポートフォリオ） ※A3サイズ、1冊にまとめること (B) 研究計画書 (研究科における各自の研究課題についてA4サイズ2,000字程度) (A), (B)それぞれに「提出作品・論文・ポートフォリオ等用紙」（申告用・添付用）を必ず記入し提出すること。
				(C)作品提出（2年以内に制作した作品3～5点・本人の作品でないとみなされた場合、失格とする。） ※第1次合格者のみ提出（合格発表については、31ページ参照） ※作品提出に必要な機材等は各自用意すること。作品提出にあたって、パソコンや携帯電話によるインターネットなどの外部との通信接続は認めない。ネットを利用した作品等は事前にデータとして用意し提出すること。 ※実物の持参が難しい作品はパネル提出でも良い。 ※作品は指定された範囲内で全て置くか立てかける状態で提出する。壁に貼る、吊るすことは出来ない。 ※大きい作品等、提出に問題がある場合には事前にデザイン科合同研究室へ連絡すること。
		第2次試験 2月16日(金) 集合時刻 9:30 総合工房棟 3F受付	10:00~12:00	
			13:00~16:00	プレゼンテーション並びに面接試験
		17:00~19:00	作品搬出	

専攻	研究分野	日	時	選抜試験内容及び方法
先端芸術表現	先端芸術表現	第1次試験		<p>ポートフォリオ提出</p> <p>※(注)</p> <p>1. 「修士ポートフォリオ等在中」と封筒に朱書のうえ、書留で郵送すること。(持ち込みは不可)</p> <p>2. ポートフォリオの大きさはA3版以下とする。 1冊のみ提出すること。実作品はポートフォリオとして認めない。</p> <p>3. ポートフォリオのほかに、以下の参考資料を1種類だけ提出することができる。参考資料・メディアには、1点ごとに受験番号・名前を明記すること。</p> <p>参考資料の提出及び返却方法は、ポートフォリオの提出及び返却方法に準ずる。(17ページを参照)</p> <p>①映像資料：USBメモリーもしくはSDカード（データファイルを保存※1）で3分以内、1枚</p> <p>②音響資料：USBメモリーもしくはSDカード（データファイルを保存※2）で3分以内、1枚</p> <p>③写真作品：25点以内。A3版以下1冊</p> <p>④印刷資料（著書・論文（抜刷※3）・報告書（製本済のもの））：3点以内</p> <p>※1 解像度（最大）1280×720のQuickTime形式(.mov)のデータファイルをUSBメモリーもしくはSDカードに保存すること。</p> <p>※2 音響データ(.WAV, .AIFF, MP3等)をUSBメモリー、もしくはSDカードに保存すること。</p> <p>※3 通常、学術雑誌は複数の執筆者が寄稿した論文を集めて1冊とするが、この中から特に志願者の論文だけを抜き出して読みやすい形にした物</p>
		1月18日(木) ～1月22日(月)16:00まで (期間内必着：17ページを参照)		
		提出先： 〒302-0001 茨城県取手市小文間5000 東京藝術大学 取手校地 先端芸術表現合同教員室		
				※書留郵送すること。 (持込は不可)
現		〔2月7日(水)〕 〔集合時刻〕 10:00	11:00～13:00	小論文
		取手校地 メディア教育棟		
		第2次試験		<p>面接</p> <p>※面接試験は2月13日(火)・14日(水)のいずれか1日とする。</p> <p>詳細については、第1次試験合格者発表時(31ページ参照)に告知する。</p>
		2月13日(火) 又は 2月14日(水)		
		取手校地 メディア教育棟		

専攻	研究分野	日	時	選抜試験内容及び方法
芸 術 学	美 学 日本・東洋美術史 西洋美術史 工芸史	1月4日(木))	9:00~16:00	論文提出：論文及び要旨は同一のものを2部提出すること。 提出先：美術学部教務係（郵送の場合は期間内必着） 志望の研究分野（美学，日本・東洋美術史，西洋美術史，工芸史）に関する論文（卒業論文等）を提出する。 （郵送の場合は，願書とは別便とする。） 「芸術学科卒業論文在中」と封筒に朱書の上，書留で郵送すること。 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学美術学部教務係 ※論文には，2,000字程度の要旨を添えること。 （平成30年3月本学芸術学科卒業見込の者で，卒業論文が研究科における志望研究分野と一致する場合，論文の提出は不要である。）
		1月10日(水)		
		2月14日(水) 〔集合時刻〕 9:30 中央棟 〔玄関ロビー〕	10:00~12:00	筆答試験（語学能力。辞書は全員同じものを受験場で貸与する。種類は英・独・仏・伊・日本及び中国の古典語それぞれに対し英和，独和，仏和，伊和，漢和である。インクの出る筆記用具は使用不可。） ◆ 美学，西洋美術史の分野を志望する者 （英・独・仏・伊語の中から2か国語を選択受験）する。 ◆ 日本・東洋美術史の分野を志望する者 （英・独・仏・伊語の中から1か国語を選択受験するとともに，日本及び中国の古典語を受験する。ただし，日本・東洋の近現代美術史を志望する者は，英・独・仏・伊・日本及び中国の古典語の中から2か国語を選択受験する。） ◆ 工芸史の分野を志望する者 （西洋の工芸史を志望する者は英・独・仏・伊語の中から2か国語を選択受験する。日本・東洋の工芸史を志望する者は英・独・仏・伊語の中から1か国語を選択受験するとともに，日本及び中国の古典語を受験する。）
		2月16日(金) 〔集合時刻〕 及び 集合場所 は2/14(水) に指示する	13:15~16:55	筆答試験（専門知識。「美学」，「日本・東洋美術史」，「西洋美術史」の3科目の中から2科目を選択受験する。各科目の試験時間は，各60分。インクの出る筆記用具は使用不可。） （志望研究分野の科目は必ず選択科目に含めること。なお，工芸史の分野を志望する者については，西洋の工芸史を志望する者は「西洋美術史」を，日本・東洋の工芸史を志望する者は「日本・東洋美術史」を必ず選択科目に含めること。）
		2月16日(金) 〔集合時刻〕 及び 集合場所 は2/14(水) に指示する	10:00~	口述試験

専攻	研究分野	日	時	選抜試験内容及び方法
芸 術 学	美術教育	2月12日(月) 〔集合時刻〕 10:00 中央棟 玄関ロビー	10:30~12:00	筆答試験(1) 英語 (辞書持込可。ただし電子辞書は不可。)
			13:00~14:30	筆答試験(2) 実技に関する小論文
			15:00~16:30	筆答試験(3) 理論に関する小論文
		2月13日(火) 〔集合時刻〕 9:30 中央棟 玄関ロビー	10:00~17:00	実技試験 〔描画材料は持参のこと。用紙, イーゼルは大学で用意する。〕
		2月14日(水) 〔集合時刻〕 11:00 中央棟 玄関ロビー	11:00~15:00	提出物:①実技作品3点以上5点以内。(1年以内に制作したものに限り。) 映像資料の場合,5分以内の作品とする。 (モニター・デッキ等は不要。他のメディアの場合は問い合わせること。) ②ポートフォリオ1冊。 提出先:美術教育研究室から指示する。
	2月15日(木) 〔集合時刻〕 中央棟 玄関ロビー 集合時間については別途指示する	10:00~	面接	
	美術解剖学	2月10日(土) 〔集合時刻〕 9:30 中央棟 玄関ロビー	10:00~12:00	筆答試験(英語) (辞書持込可。ただし電子辞書は不可。)
			13:00~15:00	筆答試験(小論文)
		2月11日(日) 〔集合時刻〕 10:00 中央棟 玄関ロビー	10:30~12:30	面接
			13:30~16:30	観察力試験:(鉛筆による描写) 〔用紙,画板,イーゼル等は大学で準備するが, 自分の用いる鉛筆は本人が持参すること。〕

専攻	研究分野	日	時	選抜試験内容及び方法	
グローバル アート プラクティス	グローバル アート プラクティス	第1次試験		ポートフォリオ提出 1. 「GAP専攻ポートフォリオ等在中」と封筒に朱書きの上、書留で郵送すること。持ち込みは不可。 2. ポートフォリオの大きさはA4版以下及び20ページ以内とし、1冊のみを提出すること。実作品はポートフォリオとして認めない。 3. 研究内容補足資料1種類（任意提出） 研究内容補足資料 提出する全ての補足資料に受験番号を明記すること。 ①映像資料 ・視聴時間を3分以内に収めること。 ・映像は1920×1080ピクセル以下、mov形式にすること。 ②音響資料 ・視聴時間を3分以内に収めること。 ③印刷資料（論文等印刷物 3点以内） ・著書、論文等印刷物 ・書籍の一部を抜き出す場合は、該当箇所のコピーを提出すること。または該当箇所を葉等で分かりやすくすること。 4. 自己紹介ビデオ（任意提出） 自己紹介ビデオ ・視聴時間を2分以内に収めること。 ・映像は1920×1080ピクセル以下、mov形式にすること。 ・ビデオは受験生本人が正面を向いた状態で、自己紹介や志望動機、研究内容を話した様子を撮影すること。 ・高精細なビデオである必要はない。デジタルカメラ、パソコン、スマートフォンなどで撮影した簡易な映像でも良い。 ※動画や音響ファイルは、CD、DVD-R、USBフラッシュメモリーやSDメモリーカードなどのフラッシュメモリーで提出すること。または動画閲覧サイトや大容量ファイル送信サービスにアップロードしてもよい。ファイル送信サービスを利用した際はURLを記入した紙を提出すること。 ※言語は日本語または英語を使用すること。英語の場合は、可能な限り日本語訳を添付すること。 ※提出資料が再生できない場合は、審査資料から除外する。 ※提出資料の閲覧は、MacOSX（10.11）で行う。 ※提出された資料は返却しないので、注意すること。	
		1月15日（月） ～1月23日（火）16：00まで			
		（期間内必着：17ページを参照）			
				「GAP専攻ポートフォリオ等在中」と封筒に朱書きの上、書留で郵送すること。もしくは、海外から発送の場合は、DHL、EMS等確実に届く方法で送付すること。持ち込みは不可。 提出先： 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学美術学部教務係	
		2月9日（金） 集合時間 8：20 集合： 大学美術館前	9：00～ 11：00	実技試験 ドローイング 用紙、カルトンは本学で用意する。 ドローイング用具一式、筆記用具を持参すること。	
		第2次試験 2月16日（金） 集合： 大学美術館前		面接 ※面接試験の集合時刻については、第1次試験合格者発表時（p.31参照）に告知する。	

(注) 文化財保存学専攻の志願者は、事前に、志望する研究室で、文化財保存学専攻の内容について説明(説明会)を受けるのが望ましい。

保存修復日本画研究室…050-5525-2276

保存修復油画研究室…050-5525-2278

保存修復彫刻研究室…050-5525-2279

保存修復工芸研究室…050-5525-2281

専攻	研究分野	日	時	選抜試験内容及び方法
文化財保存学	保存修復 (日本画 油画 彫工 刻芸)	2月10日(土)	13:00~15:00	<p>作品等の提出(志望する専門の近作1点。ただし卒業制作は不可) 提出先:当日,学内に掲示する。</p> <p>〔作品等の提出には,所定の「提出作品用紙」 添付用を作品に貼り,併せて「提出作品用紙」 申告用を窓口に提出すること。 提出作品は,2月13日(火)の面接終了時に返却する。〕</p> <p>◆絵画(日本画・油画)…作品(30号。1年以内に制作した未発表のものに限る)及び参考資料 ◆彫刻……………作品(一人で持ち運びできる程度)及び参考資料 ◆工芸……………作品(一人で持ち運びできる程度)及び参考資料</p>
		2月11日(日)	10:00~16:00	<p>〔集合時刻 9:30 中央棟玄関ロビー〕</p> <p>実技試験(鉛筆デッサン)</p>
		2月12日(月)		<p>〔集合時刻 8:30 中央棟玄関ロビー〕</p> <p>9:00~10:30 筆答試験 (1) 保存修復に関する試験</p>
		2月12日(月)	11:00~12:30	(2) 志望する専門に関する試験
		2月13日(火)	〔集合時刻は2月12日に指示する/中央棟玄関ロビー〕	面接

9 選抜試験場（東京藝術大学美術学部）

上野校地（東京都台東区上野公園12-8）

- ・ J R 上野駅公園口，鶯谷駅下車徒歩約10分
- ・ 東京メトロ銀座線，日比谷線上野駅下車徒歩約15分，千代田線根津駅下車徒歩約10分

取手校地（茨城県取手市小文間5000）

- ・ J R 取手駅東口から大和交通バスで
約15分（東京芸大前下車），徒歩約10分

※取手校地は先端芸術表現専攻において実施。36ページ参照。

10 合格者発表

○第1次合格者発表（デザイン・先端芸術表現・グローバルアートプラクティス専攻のみ）

下記により美術学部構内（上野校地）の掲示板に受験番号を掲示します。

第 2 期 (デザイン専攻)	平成30年 2月10日（土）13時 (美術学部教務係にて合格者は2次試験の指示書を受け取り，不合格者は作品ファイルを返却)
第 2 期 (先端芸術表現専攻)	平成30年 2月10日（土）13時
第 2 期 (グローバルアート プラクティス専攻)	平成30年 2月13日（火）13時

※本学ホームページ[<http://admissions.geidai.ac.jp>]でも合格者の受験番号等を掲載します。
第1次合格者発表日の学内掲示後（14時頃）に掲載する予定です。

※第2次試験の連絡事項を掲示する場合がありますので，必ず合否確認を行ってください。

※第1次試験に合格しない場合，第2次試験以降は受験できません。また，最終合格発表まで書類手続はありません。

○最終合格者発表

下記により美術学部構内（上野校地）の掲示板に受験番号を掲示します。

第 1 期 (建築・文化財 保存学〔保存 修復(建造物)・ 保存科学・シス テム保存学])	平成29年 9月29日（金）10時 (合格者には，平成30年 2月22日頃に入学手続書類を送付する。)
第 2 期 (第1期以外 の全専攻)	平成30年 2月20日（火）10時 (合格者には，平成30年 2月22日頃に入学手続書類を送付する)

※本学ホームページ[<http://admissions.geidai.ac.jp>]でも合格者の受験番号等を掲載します。
最終合格者発表日の学内掲示後（11時頃）に掲載する予定です。

【第1次合格者発表及び最終合格者発表における注意事項】

1. 電話などによる問合せには一切応じませんので、受験者本人若しくは代理人が必ず確認してください。なお、発表の際は、指定された場所以外に一切立ち入らないでください。
2. グローバルアートプラクティス専攻については、3月16日以降に追加合格を行う場合がありますので、3月16日から3月22日までの間は、連絡が取れるようにしておいてください。(連絡はメールまたは電話にて大学から行います。受験生からの問い合わせには一切応じません。)
3. 発表開始前後は、本学ホームページにアクセスが集中し、つながりにくい場合があります。その際は、時間をおいて再度アクセスしてください。

11 入学手続

(1) 手続期間

① 郵送による受付

平成30年3月13日(火) 必着

② 大学へ直接持参する場合

平成30年3月14日(水) 10時～12時, 14時～17時及び3月15日(木) 10時～12時, 14時～17時

上記の入学手続期間内に入学手続をしない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

(2) 場所

東京藝術大学美術学部 中央棟1F会議室(東京都台東区上野公園12-8)

(3) 入学金等の支払

・合格発表後に配布する振込用紙でのお支払いとなります。

種別	金額	備考
入学金(※1)	338,400円	予定額 国費外国人留学生は支払不要
厚生補導助成金	10,000円	
杜の会会費(同窓会)	40,000円	他大学卒業生及び本学卒業の未納者が対象。 入会金及び10年分会費 外国人留学生は免除
学生教育研究災害障害保険料	1,750円	2年間分
学研災付帯賠償責任保険料	680円	2年間分

※1: 入学手続終了者が平成30年3月31日までに入学辞退を申し出た場合でも、入学金は返還しません。

なお、授業料については入学後に支払が必要となります。

金額: 前期分267,900円, 後期分267,900円(年額535,800円) [予定額]

※国費外国人留学生は支払不要です。

- ① 在学中に授業料改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用されます。
- ② 納入方法は原則として口座振替となりますので、入学手続き時に「預金口座振替依頼書」をご提出ください。
- ③ 平成30年度の口座振替日は、前期分5月下旬, 後期分11月下旬の予定です。

(4) 教材費

上記以外に、入学後に教材費の支払いが必要となります。支払方法等は研究室よりご案内します。

学科・専攻	金額	教材費内訳等
絵画(油画, 版画, 壁画, 油画技法・材料)	60,000円	入学後に全額支払
工芸科(ガラス造形)	50,000円	入学後, 研究室から指示
デザイン科	70,000円	入学後に全額支払
建築科	60,000円	入学後に全額支払
先端芸術表現科	130,000円	入学後に全額支払
グローバルアートプラクティス	300,000円	入学後, 研究室から指示
文化財保存学(油画)	50,000円	入学後, 研究室から指示

※上記の金額は年額ではなく、修士課程在学中のものです。

日本入国査証について

- ・日本入国の査証申請及び在留資格の取得手続きは、入学手続きとは別に、入学希望者が本人の責任で行って下さい。
- ・短期滞在（観光）などの査証で来日し、日本国内で在留資格を変更（短期滞在→留学）する場合には、入国管理局での審査に1～3か月の期間が必要ですので、3か月程度日本滞在が可能な在留資格を取得して下さい。

12 入学料・授業料の免除・徴収猶予について

本学には、入学料・授業料の免除・徴収猶予制度があるので、希望する者は、入学料・授業料の支払前に、下記の申請要件を確認のうえ、所要の手続を行ってください。

（支払後の各種申請は出来ないので注意してください。なお、入学料免除については申請要件を満たしても免除されるとは限らないこと、及び授業料免除についても申請しても不許可となる場合があることから、入学料・授業料支払の準備は事前に十分に行っておいてください。）
免除・猶予の申請要件は次のとおりです。

(1) 入学料免除

- ① 経済的理由により入学料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合
- ③ ①に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

(2) 入学料徴収猶予

- ① 経済的理由により入学料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 入学前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が困難であると認められる場合
- ③ その他やむを得ない事情があると認められる場合

(3) 授業料免除

- ① 経済的理由により授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合
- ② 授業料の納期前1年以内に、申請者の主たる家計支持者の死亡または申請者本人もしくは申請者の主たる家計支持者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる場合

(4) 授業料徴収猶予

- ① 経済的理由により授業料の納付期限までに納付が困難で、かつ学業優秀と認められる場合

なお、上記申請要件に不明の点がある場合は、学生課（TEL 050-5525-2069：日本語のみ）に照会してください。

13 入試情報の開示について

大学院美術研究科（修士課程）入学者選抜試験の個人成績を受験者本人の申し出に限り開示します。（日本国内のみ郵送で開示）

申込方法等は次のとおりです。

1. 申込方法

○受験者本人が来学する場合

募集要項40ページの「個人成績開示願及び通知書」を印刷し、下線部すべてに受験者本人が記入のうえ、本学受験票（コピーは不可。ただし、本学入学者は学生証のコピー）、返信用封筒（長形3号〔12cm×23.5cm〕封筒に受験者本人の郵便番号、住所、氏名を記入し、392円分の切手を貼付したもの）の3点を持参のうえ来学し、美術学部教務係で申し込んでください。（後日「簡易書留郵便」で送付します。）

○郵便で開示願いをする場合

居住地が遠隔地である等の理由で来学できない場合は、郵便での請求を受け付けます。募集要項巻末の「個人成績開示願及び通知書」を印刷し、下線部すべてに受験者本人が記入のうえ、本学受験票（コピーは不可。ただし、本学入学者は学生証のコピー）、返信用封筒（長形3号〔12cm×23.5cm〕封筒に受験者本人の郵便番号、住所、氏名を記入し、392円分の切手を貼付したもの）の3点を東京藝術大学美術学部教務係宛に簡易書留で郵送してください。封筒の表には「成績開示願在中」と朱書してください。（後日、「簡易書留郵便」で送付します。）

2. 申込期間

○受験者本人が来学する場合

第1期選抜試験受験者：平成29年11月2日（木）～11月24日（金）

第2期選抜試験受験者：平成30年6月1日（金）～6月29日（金）

平日 午前9時00分～午後4時30分（午後0時30分～1時30分を除く）

○郵便で開示願いをする場合

第1期選抜試験受験者：平成29年11月2日（木）～11月24日（金）

第2期選抜試験受験者：平成30年6月1日（金）～6月29日（金）

の消印のみ受け付けます。

3. 開示内容

(1) 当該年度（平成30年度）入学者選抜試験の個人成績のみを開示します。

(2) 個人成績を得点又は段階評価で開示します。

なお、順位は開示しません。

4. 開示願受理後、通知書送付については第1期は平成29年12月下旬、第2期については平成30年7月下旬の一括発送とします。

14 個人情報の取り扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）に基づき、本学が入学選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

1. 利用目的について

- (1) 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続きに係わる業務で利用します。
- (2) 入学手続き者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続き者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学選抜に関する調査研究で利用します。

2. 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

- (1) 上記1.(1)～(5)の個人情報を取り扱う業務を、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- (2) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合格及び入学手続き等に関する個人情報（氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限る）を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達する場合
- (3) 本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
 - ①音楽教育振興会（音楽学部の教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）
 - ②杜の会（美術学部同窓会）
 - ③同声会（音楽学部同窓会）
 - ④東京芸術大学生生活協同組合

本学キャンパス

上野校地

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

[交通機関]

- (J R) 上野駅公園口
鶯谷駅下車徒歩約10分
- (東京メトロ) 銀座線, 日比谷線
上野駅下車徒歩約15分
千代田線
根津駅下車
徒歩約10分



取手校地

〒302-0001 茨城県取手市小文間5000

[交通機関]

- (J R) 取手駅 (上野駅から常磐線40分)
東口から大利根交通バス約15分
「東京芸大前」下車
徒歩約10分



《受験に関する問い合わせ先》

東京藝術大学美術学部教務係

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

電話 050(5525)2122

添付用

提出作品・論文・ポートフォリオ等用紙

- (注) 1. この用紙は、提出する作品等にのり付けする等、表示すること。
 2. 提出する全ての作品、論文等ごとに提出すること。(不足分は、コピーをすること)
 3. 安全管理及び保健衛生上、支障がある作品等は受理しない。
 4. 証明欄は絵画専攻(※日本画を除く)志願者、デザイン専攻志願者、美術教育研究分野志願者のみ記入。(ただし、本学在学中の者は必要ない。)

志望研究分野名	受験番号 番	(ふりがな) 氏名	男女 女
出身大学名 (赤○で囲む)	本学・他大学()	大学	学部 科) 専攻
制作日	平成 年 月 日制作	提出点数	全 点・冊
作品名又は 題目等			
証明欄 ※指導教員の証明を得ることができない場合は、本人の能力を知る、第三者の証明を得ること。	上記の作品・ポートフォリオは、本人のものであることを証明する。 平成 年 月 日 証明者職名等 (指導教員等) 氏名 (印)		
彫刻作品搬出方法 ※彫刻専攻志願者のみ記入	1. 本人(本人以外の場合、研究室と事前相談をすること) 2. 代理人(氏名 TEL)		

※日本画志願者は、この用紙のみ提出すること。(下半分の申告用紙は必要ない。)

東京藝術大学大学院美術研究科

修士課程

(切り取る)

両方記入すること

申告用

提出作品・論文・ポートフォリオ等用紙

- (注) 1. この用紙は、提出する作品等には貼り付けず、募集要項で指定した受付(研究室又は美術学部教務係)に提出すること。郵送の場合は作品等に同封すること。
 2. 提出する全ての作品、論文等ごとに提出すること。(不足分は、コピーをすること)
 3. 安全管理及び保健衛生上、支障がある作品等は受理しない。

志望研究分野名	受験番号 番	(ふりがな) 氏名	男女 女
出身大学名 (赤○で囲む)	本学・他大学()	大学	学部 科) 専攻
提出点数	全 点・冊		
作品名又は 題目等			
彫刻作品搬出方法 ※彫刻専攻志願者のみ記入	1. 本人(本人以外の場合、研究室と事前相談をすること) 2. 代理人(氏名 TEL)		
作品返却欄 ※提出時には、記入しないこと	上記の作品・小論文・論文・資料について確かに返却を受けました。 月 日 署名		

東京藝術大学大学院美術研究科

修士課程

志望研究調書

ふりがな 氏名		志望専攻	
		志望研究分野	
これまでの研究テーマ（または学部における卒業研究題目）			
本大学院を志望する理由及び入学後に希望する研究テーマの概要			
活動歴（先端芸術表現専攻・グローバルアートプラクティス専攻のみ）			

※グローバルアートプラクティス専攻の受験生は、日本語または英語を使用すること。
英語の場合は可能な限り日本語訳を添付すること。

入学書類送付用宛名シート

※研究分野等	※受験番号

①平成 30 年度入学書類送付用

〒	都・道	市・区
住所：	府・県	町・村

方		
氏名：	_____様	

②平成 30 年度入学書類送付用

〒	都・道	市・区
住所：	府・県	町・村

方		
氏名：	_____様	

修士用

- (注)
- ※印欄は、記入しないこと。
 - このラベルは、出願時に入学願書等と一緒に提出すること。
 - 太枠内に収まるよう、丁寧に記入すること。
 - ①・②の両方に同じ宛先を記入すること。
 - 宛先は日本国内に限る。(海外在住者は、日本国内の代理人を指定すること。日本国内の代理人を指定することが難しい場合は出願に必要な書類の送付前に必ず美術学部教務係に連絡すること。)
 - 平成 30 年 2 月 22 日(木)発送(予定)に受け取りが可能な宛先を記入すること。
帰省等で一定期間不在になる場合には必ず美術学部教務係に連絡すること。
美術学部教務係：bijutsu.kyomu@ml.geidai.ac.jp

No.

平成30年度東京藝術大学大学院入学試験個人成績開示願

平成 年 月 日

東京藝術大学大学院美術研究科長 殿

私が受験した貴大学院の入学試験成績をお知らせ願います。

受験区分： 大学院美術研究科(修士課程)

専攻・研究分野等： _____ 研究分野

受験番号： _____

氏 名： _____

住 所： 〒 _____

電話番号： _____ (_____) _____

- (注) 1. 募集要項34ページの「13 入試情報の開示について」を参照のうえ、申し込んでください。
2. 返信用封筒（本人の住所・氏名を明記のうえ、簡易書留扱いとしますので、392円分の切手を貼った長形3号封筒 [12cm×23.5cm]）を提出してください。
3. この書類は、すべて自筆により記入してください。
4. 開示願の受付は、第1期：平成29年11月2日（木）～11月24日（金）、
第2期：平成30年6月1日（金）～6月29日（金）の期間とします。
期間外の申請は無効となりますのでご注意ください。
5. 開示願受理後、通知書送付については第1期は平成29年12月下旬、第2期については平成30年7月下旬の一括発送とします。

----- (切り離さないでください) -----

No.

平成30年度東京藝術大学大学院入学試験個人成績通知書

平成 年 月 日

受験区分： 大学院美術研究科(修士課程)

専攻・研究分野等： _____ 研究分野

受験番号： _____ 氏 名： _____ 殿

あなたから願い出のあった入学試験成績は、別紙のとおりです。

東京藝術大学大学院美術研究科

東京藝術大学大学院
美術研究科（修士課程）
学 生 募 集 要 項

平成29年7月発行

東 京 藝 術 大 学

東京藝術大学への問い合わせ先等

○本学のホームページアドレス

<http://www.geidai.ac.jp/>

○本学「入試情報サイト」のホームページアドレス

<http://admissions.geidai.ac.jp/>

○本学「インターネット出願サイト」のホームページアドレス

<http://e-apply.jp/e/geidai-net/>

○入学者選抜等

美術学部教務係…………… (☎050-5525-2122)

電話による問い合わせは、平日9：00～12：30、13：30～16：30
(ただし、土・日・祝日・本学の夏季休業期間・年末年始を除く) (日本語のみ)
※やむを得ない場合を除き志願者本人が問い合わせてください。

インターネット出願サイトの操作方法・入学検定料支払方法に関する 問い合わせ先

(株) ディスコ「学び・教育」サポートセンター

Tel：0120-202-079 (平日10：00～18：00 / 土・日・祝日・
年末年始を除く ※出願期間中は24時間対応) (日本語のみ)

Email：cvs-web@disc.co.jp (日本語・英語対応可)

※入試に関する質問についてはお答えできません。